

【様式 02】高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	03204
----------	-------

1. 開設大学	近畿大学工学部	開催方法 (キャンパス・施設)	☒ 対面 (本学) ☐ オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	伝熱工学～身近なようで難しい沸騰現象～					
	学問分野	番号	31	名称	工学 (機械、電気通信、土木、建築など)	
3. 担当教員	井上 修平 (工学部 機械工学科)					
4. 開講期間 (曜日)	令和 7 年 8 月 20 日 (水)、令和 7 年 8 月 21 日 (木)					
開講時間	13 時 00 分～14 時 30 分 (各日 90 分×1 回)					
個別開講日	1 回目 8/20	2 回目 8/21	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
5. 募集定員	人 (受入学年 :)					
6. 科目内容・授業計画	工業製品やそれを生産する過程において「熱」はどうしても良いというものは存在しません。例えばコンピューターでは「熱」は捨てたいでしょうし、熱を電気に変換する熱電素子では熱を逃がしたくないでしょう。捨てたい、逃がしたくないだけならまだしも制御したい (ある温度範囲に収めたい) ということも多くあります。熱の移動に関する問題は古くからありますが現在でも重要で機械工学科では伝熱工学として授業が準備されていることがほとんどです。 本授業では伝熱の中でも沸騰に関することを取り扱います。熱を取り除くことに関して沸騰に勝るものはありません。誰もが観察したことがある、鍋の底から泡が出てくる「核沸騰」とあまり身近ではない「膜沸騰」これらの違いと沸騰現象の違いを観察しながら進めていきたいと思います。					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等)					
9. 開講条件 ※1 あり・ない	最少開講人数 () 人 定員超過の不許可は選考により決定 不許可・不開講通知日 : 6 月末まで					
その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など					
開設大学への交通手段	https://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。